

| | |
|-------|---|
| 研究テーマ | 絵画作品をよく見て、友人と話し合うことで自分の見方や感じ方を深める鑑賞指導の工夫 —第5学年「見つけたことを話してみよう～鳥獣人物戯画の世界を味わおう～」の実践を通して |
|-------|---|

つくば市立学園の森義務教育学校 教諭

I 研究のテーマについて

絵画作品をよく見るためには実物が一番だと考える。そのためには地域の美術館との連携し、親しみのある美術作品をガラス越しではなく実際に間近に見ることで、児童がよさや面白さに自ら気づき楽しく鑑賞活動ができると考える。また、現在は、児童が主体的で対話的に学び合う学習活動が求められている。児童が造形的なよさや美しさを意識して作品を読み取り、自分なりの意味や根拠を持って話し合うことで、これまでと違った見方や感じ方ができるようになり、自分の見方や感じ方を深めることができると考える。また、そこで得たものは、その後の表現活動に生かすことができると考える。

教師側が、授業の目的に合わせて作品の選定をし、児童が興味を持って意欲的に活動すれば有意義な活動になる。絵巻物や掛け軸などを選定することにより我が国の文化と伝統に対する理解と愛情を育て、親しみやすい作品を選定することにより芸術を愛好し、自分らしい見方や感じ方を育てることができると考える。そのため、児童の興味が高まるような学習内容の提示が重要になってくる。

以上のように、図工の鑑賞の授業における「よく見て、友人と話し合う」活動に視点を置いた指導の在り方とそのために効果的な手立てを模索し、実践結果から児童に自分の見方や感じ方を深める鑑賞の能力を付けさせる指導方法を探ることを研究テーマとする。

II 研究の実際

1 題材名 見つけたことを話してみよう～鳥獣人物戯画の世界を味わおう～

2 題材の目標

- 親しみのある美術作品を自分らしい見方や感じ方で味わおうとする。 (造形への関心・意欲・態度)
- 友人の意見や資料を参考にしたり、文章に表したりしながら、親しみのある美術作品のよさや美しさを感じ取ることができる。 (鑑賞の能力)

3 題材について

(1) 児童の実態 (男子17人 女子17人)

(単位：人)

| 質問 | 集計結果 |
|------------------------------|---|
| 美術館に行ったことがありますか | ある 20 ない 14 |
| 絵巻物を見たことがありますか | ある 14 ない 20 |
| あなたの知っている有名な美術作品は何ですか (複数回答) | モナリザ 22 ゴッホのひまわり 6 ムンクの叫び 5 最後の晩餐 4 ゲルニカ 1 睡蓮 1 ビーナスの誕生 1 種をまく人 1 ミロのビーナス 1 葛飾北斎 1 知らない 3 |
| 日本の美術作品を知っていますか | 知っている 14 知らない 20 |
| その作品は何ですか | 富嶽三十六景 8 着物 3 東海道五十三次 1 神奈川沖浪裏 1 赤富士 1 |
| 自分の家に和のものがありますか | ある 30 ない 4 |
| それは何ですか (複数回答) | 畳 18 扇子 14 うちわ 8 将棋 4 障子 4 和室 3 墨 2 着物 2 浴衣 2 座布団 1 和食 1 |

本学級は、幼少期海外で生活していた児童が 6 人、外国籍 2 人もいる。西洋絵画になじみのある児童が多いが、日本の絵画作品にはなじみがなく、世界的に有名な浮世絵版画は知っている児童が多いことが分かった。また、驚くべきことに美術館に行ったことがある児童は 20 人いる。さらに絵巻物の見たことがある人は 14 人いることが分かった。図画工作の学習で、絵巻物を取り扱うのは初めてであるが、美術作品や絵

巻物を鑑賞したことがある児童が約半数いる。これまでの鑑賞学習でも、友人の絵のよさを形や色合いなどの観点から発見し、ワークシートに記入することができている。そのため、作品を鑑賞するときも、形や色などの観点からよさを感じ取り、友人に伝え合うことができると考える。本題材では、自分らしい見方や感じ方を表現できるようにしたいと考える。

(2) 題材観

本題材は、第5学年及び第6学年の内容「B鑑賞」(1)ア「自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること。」を受けて、絵画作品をよく見て、作品の中から見つけたことや感じたこと、想像したことなどを友人と話し合うことで、自分や友人の見方や考え方、発想の面白さや楽しさを味わう活動である。ここでは、鑑賞の楽しさを味わうとともに、形や色などの特徴から感じたよさや美しさについて、根拠を明確にして友人と話し合いながら、見方や感じ方を深められるようにしたい。

(3) 指導観

本題材では、絵画作品をよく見て、絵の中から見付けたことや感じたこと、想像したことなどを友人と話し合うことで、自分や友人の見方や考え方、発想の面白さや楽しさに気付く題材である。4人で1グループにすることにより発言しやすい環境を作る。また、考えをまとめられるようにワークシートやヒントカードを使うことにより自分らしい見方を文章に表し、作品のよさや美しさを感じ取る力を育てていきたい。

4 題材の評価基準

| 造形への関心・意欲・態度 | 鑑賞の能力 |
|-----------------------------------|---|
| 親しみのある美術作品を自分らしい見方や感じ方で味わおうとしている。 | 友人の意見や資料を参考にしたり、文章に表したりしながら、親しみのある美術作品のよさや美しさを感じ取ることができる。 |

5 題材の指導計画（2時間扱い）

| 時間 | 学習内容・活動 | 評価規準【評価方法】 |
|--------------|---|---|
| 第1次 (1時間) | ○墨の濃淡と紙の形や色から想像して感じたことや考えたことを話し合い、作品のよさや美しさを見つける。 | ・親しみのある美術作品に関心を持ち、自分の感覚や経験と重ね合わせながら、自分らしい見方や感じ方で味わおうとしている。 【観察・ワークシート】 |
| 第2次 (1時間) | ○友人に、作品のよさや美しさが伝わるように工夫して紹介し合う。 | ・友人の意見や資料を参考にしたり、文章に表したりしながら、形や色などの特徴をとらえ、親しみのある美術作品のよさや美しさを感じ取っている。 【観察・ワークシート及び発表内容】 |

6 指導の実際

第1次 墨の濃淡と紙の形や色から想像して、感じたことや考えたことを話し合い、作品のよさや美しさを見つける (1時間)

① 墨を使って形を写す

(国宝)鳥獣人物戯画を印刷した全編を広げ、好きな場面を選ぶようにした。一つの場面を五枚ずつ印刷して準備をしておいた。児童たちはそれぞれ自分の気に入った場面を選んでいた。一度選んだけどやっぱり交換すると再び廊下に出て場面を選んでいた。動物のユーモラスな姿が、

【自分の好きな場面を選ぶ】



線描で表した漫画的なかわいい絵であることから児童の興味・関心を強く引きつけることができた。準備物：作品資料「鳥獣人物戯画」(掲示用、部分印刷)

② 墨を使って形を写す

墨を使い選んだ場面をトレーシングペーパーに写す。

写す際に、筆を入れた順番を考えさせ、筆の入る方、出る方など筆使いを強く意識させることにより線の細部まで観察していた。単純な線で、生き生きとした生き物を写すことにより、自分にも描けるという自信になった。他の場面も写したいと言う児童が出てきた。

好きな場面を模写することで、筆の使い方や形について細部まで観察することができていた。

準備物：墨汁、筆、トレーシングペーパー

感想では、単純な線で描かれた場面を選んだ児童は、「楽しかった」「もっと写したかった」とあり、より複雑な絵を描こうとしていた。逆に難しい場面を選んだ児童は「絵を描くのは大変だった」「筆でなぞるのはとても難しかった」とあった。場面を選ぶ段階で、筆で書くことが得意な人は複雑に描かれた場面を選ぶようにし、逆に、苦手な人はできるだけ単純な場面を選ぶよう声掛けをすると、模写の満足度が上がったのではないかと考える。

③ 気付いたことや感じしたこと、想像したことをワークシートに記入する。その後吹き出し付箋を使い、登場するものが何をしている場面かを想像する

自分の考えを書くことにより、次の段階である友人と話すことの根拠とした。話し合いに自信を持って望めるように、形や色に着目したり想像を広げたりしている意見を称賛した。

ウサギや蛙、キツネや猿など身近な生物が登場し、場面ごとに何をしている場面か想像し声に出して意見交換している姿が多く見ることができた。

ワークシートに記入できない児童にはヒントを見て記入するよう助言した。

[ヒント・何が描かれていますか・動物たちは何をしているのかな・どのような会話をしているのかな・どんな場所から見ていますか・どんな色を感じますか・天気は]

準備物：ワークシート、吹き出し付箋

④ グループ鑑賞

意見が出やすいように4人グループに編成した。意見を発表したら、どうしてそう思ったのか、理由も説明するようにした。

【模写をしている場面】



【写し終わった児童作品（模写）】



【ワークシート・吹き出し付箋に自分の考えを記入】



友人の意見を聞くことで、他者の見方や感じ方に共感したり、自分の見方や感じ方との違いを感じたりしながら、自分らしい見方や感じ方を広げられるようになる。

⑤ 写した絵や吹き出しの感想を話し合う

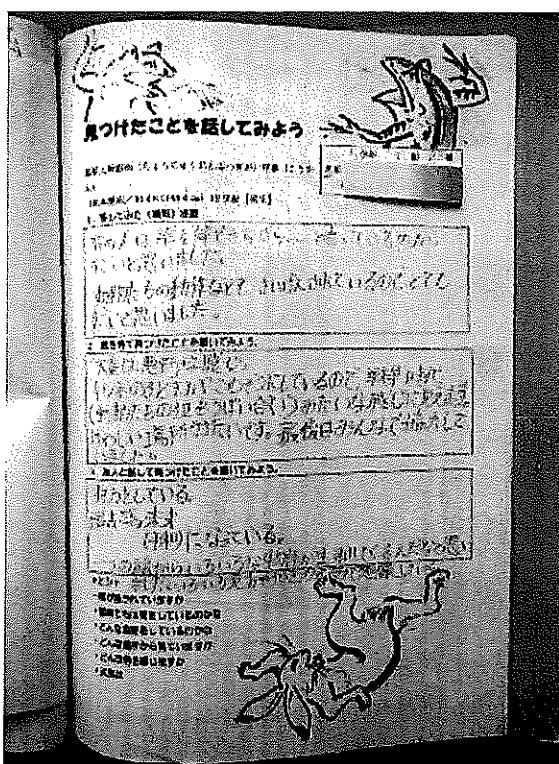
友人と話し合ったことにより、新たに場面を想像しながら記入していた。一つの見方しかできなかつた児童も、対話によって様々な見方ができることに気付き、新たな物語を考えることができた。

授業後の感想で「吹き出しにセリフを書くことで、どう思っているかを深く考えることができた」とあった。

⑥ グループで話し合って、新たに気付いたことをワークシートにまとめる

友人と話し合う前の意見と区別して記入することで、話し合いの前後の見方の変化に気付けるようにした。友人の考えを聞くことで、他者の考えを元に自分らしい見方を広げられるようにした。

【ワークシート】



⑦ 「鳥獣人物戯画」を見てみよう

美術館から借りた作品を使用した鑑賞学習を行つた。11m以上もの長さのある絵巻物の鑑賞も、自分で描いた場面がどこに出てくるかを探すことなく鑑賞することができた。自分の描いた場面が出てくると歓声が上がった。描いた場面の前後のつながりが分かり、吹き出しの内容をさらに書き足そうという声もあつた。また、絵巻物の場面交換などは、漫画のコマ割りと考えられている点など、現代に通じる表現方法を理解する

【友人と話して、新たな発想が広がる】



【吹き出しの感想を話し合う】



ワークシートの項目

1. 写してみた（模写）感想。
2. 絵を見て見つけたことを書いてみよう。
3. 友人と話して見つけたことを書いてみよう



ことができた。

※資料は、「茨城県天心記念五浦美術館」の日本画トランク（絵巻物トランク）を借用した。

第2次 友人に、作品のよさや美しさが伝わるように工夫して紹介し合う。（1時間）

① 前時の話し合いの中から物語を考える

吹き出し付箋の発想をもとに物語を発想した。

感想から「吹き出しの部分を考えるのは楽しかった」や「鳥獣人物戯画の場面を選んで物語を作るのは難しかったけれど楽しかったです」と充実感を感じている児童もいれば、逆に「想像するのが難しく、大変だった」等もあった。

② 自分が選んだ作品の場面を友人に紹介する

4人グループで紹介し合った。擬人化された生き物であるため楽しい物語がたくさん出てきた。

感想では「いろいろな発見があつて楽しかった」や「いろいろな見方を変えると、様々な物語が生まれてくるのだと思いました」「同じ絵でも、思っていることが全然違うことが分かりました」等があった。

③ グループ内で一番賛同を集めた見方・感じ方を代表としてクラス全体に発表し共有した。グループの代表が、大型電子黒板を使って全体の前で見方を説明し、想像した場面の物語を発表した。

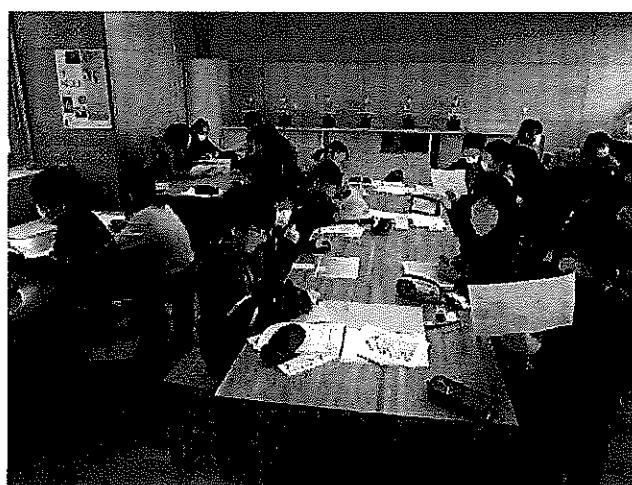
感想に「いろいろな場面で、ああ、あの人はそうやって考えるんだ。など、人それぞれ考えることが違うんだと思いました。この絵を見て、漫画は言葉があるから、その言葉だけみたいに感じるけれど、昔は言葉を書いていないから、どう考えるか人それぞれで、わくわくしたんだろうなと思いました」

「いろいろな発表があった」「あまり考えられなかつたけどおもしろかったです」「この活動で、自分なりに人物たちの言葉や様子を考えることができた。他にもこのような絵の鑑賞をしたくなつた」や、「いろいろな物語が出てきて、おもしろい話や実際にありそうな話が出てきたので楽しかったです。また、いろいろな話し方やどんな考え方をするのかが分かったのでより楽しくおもしろい鑑賞になりました。たくさんの人たちの物語を開けたので良かったです」等があった。学級全体で様々な見方や感じ方を共有することができた。

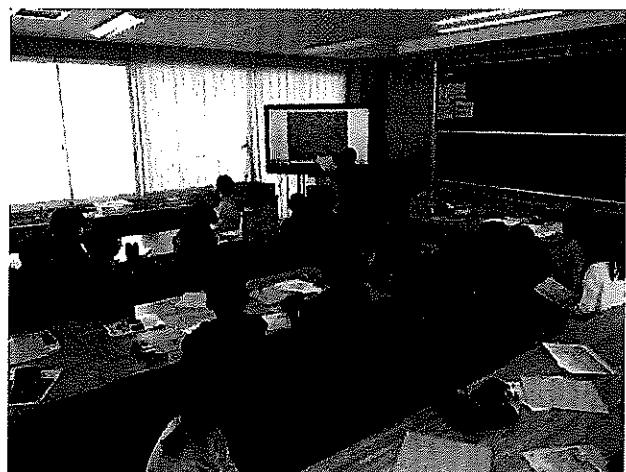
【個人のワークシート】



【4人グループでの発表風景】



【大型電子黒板を使っての発表風景】



III 研究の成果と課題

授業後のアンケート (男子 17 名 女子 17 人 計 34 名)

(単位:人)

| 質問 | 集計結果 | | |
|---------------------------------------|--------------|------------|--------------------------|
| 鳥獣人物戯画の鑑賞はたのしかった | とても楽しかった: 10 | 楽しかった: 14 | あまり楽しくなかった: 7 楽しくなかった: 3 |
| 日本文化への興味は高まったか | 高まった: 18 | 変わらない: 15 | 低くなかった: 1 |
| 作品を写したことで、筆の入り方や形をよく見ることができるようにになったか | なった: 16 | 変わらない: 16 | ならなかった: 2 |
| 吹き出しの言葉を考えることで、絵の物語を自分なりに考えることができたか | できた: 25 | どちらでもない: 8 | できなかつた: 1 |
| 友だちと相談しながら活動することでより意欲的に鑑賞活動できるようになったか | なった: 17 | 少しなった: 11 | なってない: 6 |

1 成果

- 本題材では、美術館から借りた作品を使用して鑑賞学習を行った。美術館から借りてきた作品ということや、絵がキャラクターのようで愛着がわきやすいため、いつもの授業より児童の興味・関心高かった。また、作品が国宝、さらに好きな場面を選んで模写することによって意欲的に活動することができた。筆の使い方や形について細部まで観察し写していた児童がいた。普段は、絵が苦手な児童も楽しそうに活動する姿も見られた。
- 吹き出し付箋に想像したことを書き、物語を考え、友人と話し合う活動では「絵を見て、自分なりに物語を考えることができた。同じ絵でもいろいろなパターンの物語が考えられておもしろかった」「自分で見つけられなかったことを、新たに発見することができて良かったです。場面によって感性が違ったりしていつもの鑑賞よりは楽しくできました。」と感想に書いているあることから、一人一人が自分らしい見方や感じ方で作品を鑑賞し、友人との対話により作品を様々な角度から感じ取る力がはぐくまれたと考えられる。

2 課題

- 1時間の中に詰め込み過ぎた感があり、児童たちは自分の好きな場面を選び墨と筆を使った模写に興味・関心が高かったが作業時間が少なかったため、アンケートの3問目「形をよく見ることができるようになったか」の問いに変わらないと16人が答えたと考えられる。模写だけで1時間の授業にしてもよかつたと感じた。その際は、難しいと感じた児童も多くいたことから書きやすい場面の資料を多めに印刷し、準備しておくべきであった。習字の小筆、筆ペンや面相筆など細い線を描ける道具の準備も可能ならしておく方が満足度は高まると考える。
- 複製画の鑑賞では、どこからでも大型電子黒板に見えるようにするICT機器の効果的な使い方を工夫する必要がある。
- 物語を考える、場面を想像することが難しかったと感想に記した男子児童が5人いた。吹き出し付箋以外の手立てを考えておく必要がある。
- 「日本文化への興味は高まったか」では、15人が変わらないと答えた。これは、事前おアンケートで「絵巻物を見たことがありますか」あると答えた14人なのか、見たことがない20人の14人なのか疑問が残った。

（引用文献）

文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 図画工作編』（2018.2）

（参考文献）

上野憲示（監修）『鳥獣戯画の謎』（2015.3）宝島社